



Education of Health Professionals for the 21st Century

Transforming education to strengthen health systems in an interdependent world

現在の医学教育は21世紀の新たな課題に対応しているとは言えません。知識や技術、資金が高速で世界を駆け巡り、医療従事者も患者も国境を越えて移動する今日、医療の分野でもグローバルな相互依存関係が生まれています。そこでは互いに学び合い協力し合って問題解決をする機会が増えており、今こそ専門的な医学教育の再構築が必要です。1910年に意欲的な提唱をしたフレクスナー・レポートに見られるような、細部にわたり信頼性の高い医療従事者教育の見直しが必要なのは、明らかです。

最近のランセット誌に、世界各国のアカデミックリーダー20人からなる独立委員会による重要なレポートが掲載されました。そ

れは、医療従事者教育の総合的な見直しを推奨しており、コンピテンシーに基づくカリキュラム、情報技術の創造的利用、分野を越えた専門家のチームワークやシステムアプローチを用いた組織の改革を求めています。

今回、ランセット誌の日本特集号が発刊されるにあたり、レポートの筆頭著者である中華医学基金のリンカーン・チェン先生をお招きし、レポートの主な論点と推奨事項についてお話しいただきます。特に、フレクスナー・レポートから100年たった医学教育改革の諸課題について国内外の専門家や臨床医の皆様と議論していただきます。

● 日時

平成23年8月31日(水) 午後1時～5時

● 場所

東京大学(本郷キャンパス)
福武ラーニング・シアター

● 発表者

- リンカーン・チェン(中華医学基金)
- リチャード・ホートン(ランセット編集長)
- スーディア・アナンド(オックスフォード大学)
- 伴信太郎(名古屋大学)他

● 事前登録が必要です

お名前、ご所属、Emailアドレスを下記までご連絡ください。(ghlp@m.u-tokyo.ac.jp)



連絡先: ghlp@m.u-tokyo.ac.jp
担当者: 中河 綾子